

謹 啓

寒冷の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災から1300余日を経て、今年もまもなく終わろうとしています。

福島県では、地震と津波で多くの尊い命が失われ、ふるさとに帰ることができず、原発の事故、風評被害を加えた厳しい状況が現在も続いています。

夢のつばさプロジェクト事務局 様におかれましては、これまでの間、東日本大震災による遺児・孤児のためのキャンプの開催等、様々な面で多大な御支援をいただき、心から御礼申し上げます。

県教育委員会においても、児童生徒の就学機会の確保・放射線教育の取組等、福島県の教育環境の整備・充実に全力を挙げてまいりました。おかげさまで、文化・スポーツ両面における全国大会レベルでの児童生徒の活躍など、明るい話題も増えてまいりました。

また、11月1日「ふくしま教育の日」に開催した「教育フォーラム」においては、本県の若者たちがふるさとに寄せる思いや支援への感謝の気持ち、復興に向けた決意をそれぞれの体験を通した言葉で発信しました。フォーラムでの彼らの発表意見及び動画を配信中 (<http://www.pref.fks.ed.jp/foramu/HP.pdf>) ですので、本県の若者たちの声をぜひ御覧ください。

今後とも、ふくしまの未来を担う子どもたちのため、本県教育の充実・発展に教職員一丸となって、一步一步力強く歩んでまいりますので、御理解と御支援をお願いいたします。

このたびの温かい御厚情に対し、略儀ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、夢のつばさプロジェクト事務局 様のますますの御発展をお祈り申し上げます。

敬 具

夢のつばさプロジェクト事務局 様

平成26年12月

福島県教育委員会教育長

杉 昭重